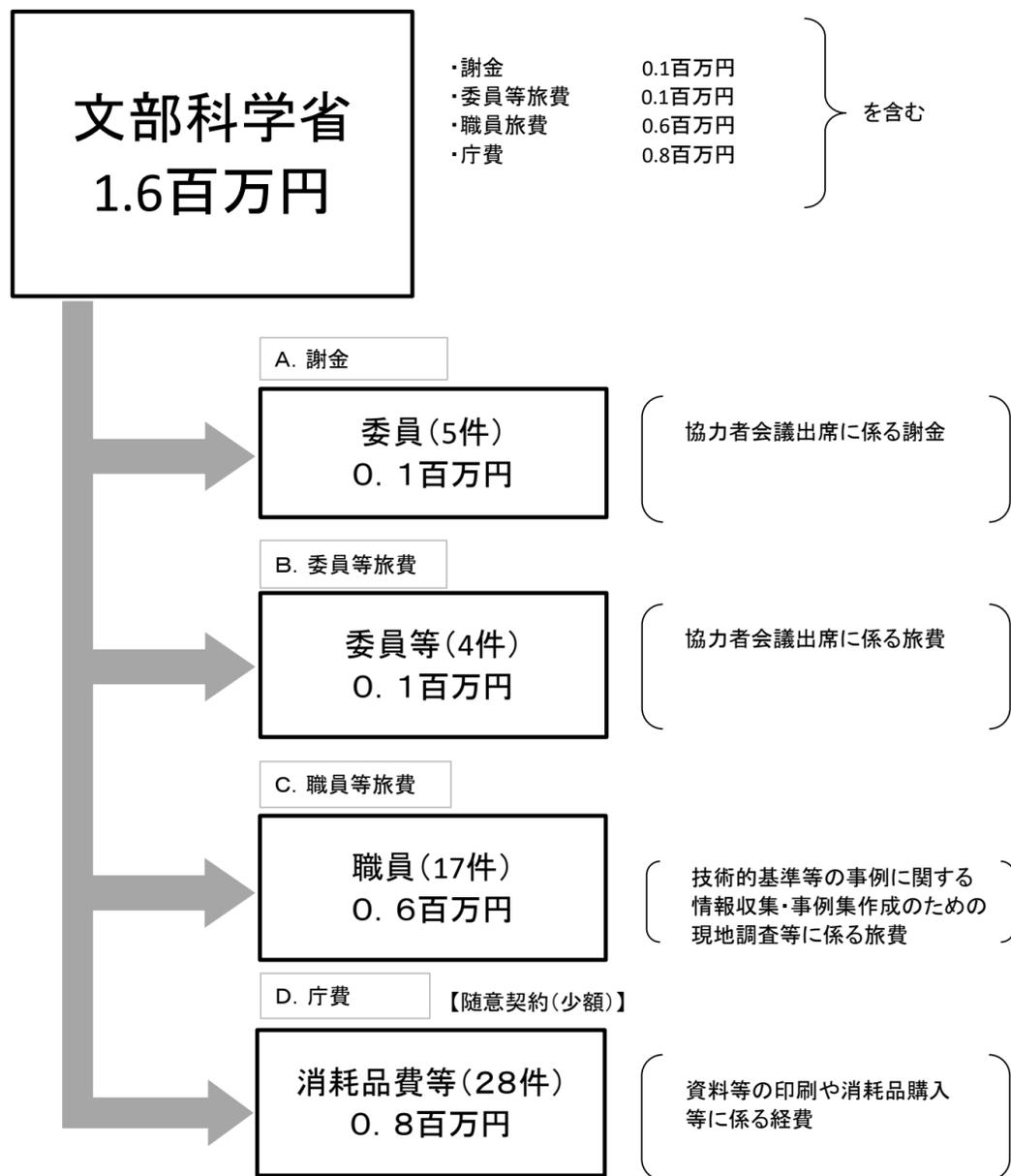


令和5年度行政事業レビューシート		( 文部科学省 )					
事業名	大学等施設の整備に係る基準等の策定		担当部局	大臣官房文教施設企画・防災部		作成責任者	
事業開始年度	平成16年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(施設防災担当)	参事官 後藤 勝	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等	第5次国立大学法人等施設整備5か年計画 (令和3年3月31日 文部科学大臣決定)			
政策	4 個性が輝く高等教育の振興		主要経費	教育振興助成費			
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は国立の文教施設並びに国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人(以下「大学等」)における施設の整備や管理運営の在り方について有識者会議や調査研究等を実施し、基準や手引き等を検討するとともに、大学等に対してその検討結果の普及に努めることで、質の高い、安全な教育環境の確保、施設整備事務の合理化・効率化を推進することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	基準や指針等の改定について、随時見直しを行い大学等に対して通知等を行っている。課題としては、働き方改革(適正な工期、週休2日の推進等)や適正な価格による工事契約について、今まで以上の取組が求められている。また、建築DX等の技術革新に遅れることなく対応していくことも必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	令和4年度は、文部科学省が定める技術的基準の改定を行うとともに、技術的基準や指針等(※1)に関する理解を更に深め、各大学等における取組をより一層推進するため、積算基準等についての講習会を実施した。また、建設DX・BIM・脱炭素等、最新技術や社会情勢等に対応する取組について、情報収集を行った。 令和5年度は建築構造設計指針及び技術的基準等の改定や、継続して取組等の情報を収集し、普及啓発を行う予定。 ※1 「国立大学等施設設計指針」:施設を設計する際の基本的な考え方や留意事項等を示した指針。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/eizen/main6_a12.htm						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	2.4	2.4	2.3	2.8	2.5
		執行額(G)	2	0.5	1.6		
執行率(%) =(G)/(F)	83%	21%	70%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	83%	21%	70%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	高等教育振興費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ※主な増減理由 執行状況を踏まえ、庁費の見直しを行い要求額を精査した。		
	(目)	庁費	2	1.5			
	(目)	職員旅費	0.7	0.7			
	(目)	諸謝金	0.1	0.1			
	(目)	委員等旅費	0.1	0.1			
	(目)	その他	0	0.0			
	計(A)	2.8	2.5				

活動内容① (アクティビティ)	大学等に対し、技術の進歩や社会情勢等に対応し、質の高い、安全安心な教育研究環境を確保するとともに、施設整備事務の合理化・効率化を図るため、情報を収集し、報告書や基準等を作成・情報発信し、普及活動を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	報告書や基準等の作成及び改定	作成及び改定した報告書や基準等の数	活動実績	回	23	25	17		
			当初見込み	回	12	24	15	12	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	随時、文教施設整備に関する技術的な報告書や基準等について改定を行うため、当該基準等の活用状況を短期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
	R6年度までにすべての大学等(87法人)がH26年度以降に作成した指針や報告書を施設の整備や管理運営の取組に活用する	H26年度以降に作成した指針や報告書を施設の整備や管理運営の取組に活用した大学等の数 ※最終年度の設定は困難 ※大学等の統合により目標値が変更	成果実績	法人数	91	90	87		
			目標値	法人数	91	90	87	87	
達成度			%	100	100	100	0		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	大学等への調査								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	随時、文教施設整備に関する技術的な報告書や基準等について改定を行うため、当該基準の活用状況を長期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
	R7年度までにすべての大学等(87法人)がH26年度以降に作成した指針や報告書を施設の整備や管理運営の取組に活用する	H26年度以降に作成した指針や報告書を施設の整備や管理運営の取組に活用した大学等の数 ※最終年度の設定は困難 ※大学等の統合により目標値が変更	成果実績	法人数	91	90	87		
			目標値	法人数	91	90	87	87	
達成度			%	100	100	100	0		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	大学等への調査								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								



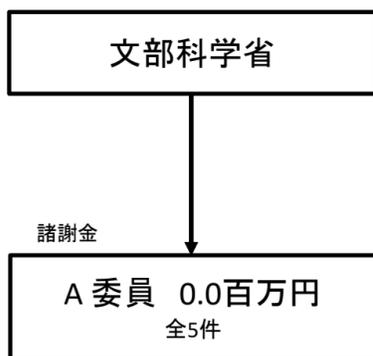
※令和4年度実績を記入。なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



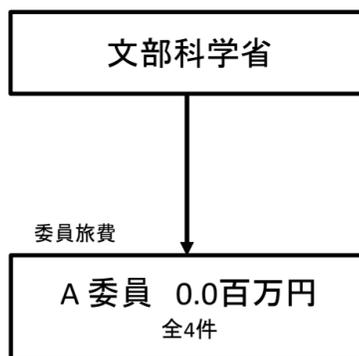
※庁費は消耗品の購入等であり、1件100万円以上の支出はない。

資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)

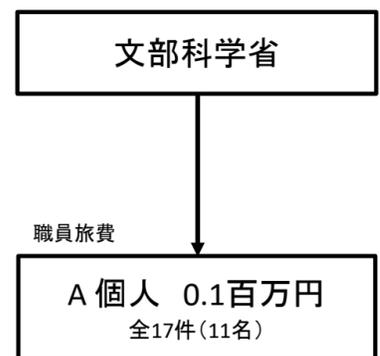
A 協力者会議諸謝金のケース



B 協力者会議旅費のケース



C 職員旅費のケース



費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	委員A	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	-
2	委員B	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	-
3	委員C	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	-
4	委員D	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	-
5	麴町税務署	-	会議出席謝金	0	その他	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	委員A	-	会議出席旅費	0.1	その他	-	-	-
2	委員B	-	会議出席旅費	0.1	その他	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A	-	現地調査	0.1	その他	-	-	-
2	職員B	-	現地調査	0.1	その他	-	-	-
3	職員C	-	現地調査	0.1	その他	-	-	-
4	職員D	-	現地調査	0.1	その他	-	-	-
5	職員E	-	現地調査	0.1	その他	-	-	-
6	職員F	-	現地調査	0	その他	-	-	-
7	職員G	-	現地調査	0	その他	-	-	-
8	職員H	-	現地調査	0	その他	-	-	-
9	職員I	-	現地調査	0	その他	-	-	-
10	職員J	-	現地調査	0	その他	-	-	-
11	職員K	-	現地調査	0	その他	-	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社大洋画地	2030001075838	消耗品等	0.3	随意契約(少額)	-	-	-
2	東京官書普及株式会社	1010001034053	消耗品等	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
3	株式会社ブルーホップ	6010001056290	消耗品等	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
4	株式会社丸善ジュンク堂書店	9010001134416	消耗品等	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
5	株式会社三省堂書店	7010001016830	消耗品等	0	随意契約(少額)	-	-	-
6	ヤトロ電子株式会社	8050001016181	消耗品等	0	随意契約(少額)	-	-	-
7	一般財団法人建設物価調査会	6010005018675	消耗品等	0	随意契約(少額)	-	-	-
8	株式会社キタウチ	3011101005090	消耗品等	0	随意契約(少額)	-	-	-
9	株式会社建設出版センター	3010601045365	消耗品等	0	随意契約(少額)	-	-	-
10	一般社団法人電気設備学会	9010005018920	消耗品等	0	随意契約(少額)	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	